

様式第2(第5条関係)

特定施設使用届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

会津若松市長 様

※届出者は元請業者となります。

届出者 会津若松市〇町〇丁目〇番〇号  
 〇〇株式会社  
 代表取締役 〇〇 〇〇  
 電話番号 〇〇〇- 〇〇〇〇

振動規制法第7条第1項の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	△△株式会社 △△工場		※ 整理番号		
工場又は事業場の所在地	会津若松市△△町△ 丁目△番△号		※ 受理年月日		年 月 日
工場又は事業場の事業内容	製造業 <small>※分類は日本産業分類による</small>		※ 施設番号		
常時使用する従業員数	20人		※ 審査結果		
振動の防止の方法	別紙のとおり。		※ 備考		
特定施設の種類の	型式	公称力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)
付表1参照	数が多い場合は、付表1参照としてください。				

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第1に掲げる号番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 2 振動の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、<sup>つり</sup>基礎、直接支持基礎(板ばね、コイルばね等を使用するもの)、空気ばねの設置等振動の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4 とすること。
- 5 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあつてはその代表者)が署名することができる。

付表 1

振動特定施設の種類の数

振動特定施設の種類	型式	公称能力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)
1 金属加工機 ロ 機械プレス	〇〇	〇kW	1	8:00	17:00
届出対象施設の番号並びに名称を記入	製造会社名及び型式・型番号を記入				
参考事項					

備考

- 1 振動特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第 1 に掲げる項番号及び名称を記入すること。

2 振動特定施設の規模、構造等の参考となる仕様書又はカタログの写しを添付すること。

付表 2

振動の防止の方法

振動特定施設の種類の種類	1 金属加工機 ロ 機械プレス	
振源での振動レベル (dB)	60 dB (機側より 1m)	カタログ等に記載されている数値を記入
建屋の壁材質と厚さ	〇〇材を用いた壁、 厚さ：〇〇mm	
敷地境界までの距離 (m)	10 m	機械側面から直近の敷地境界までの距離
その他の振動防止対策	防振ゴムの設置	
敷地境界線での振動レベルの予測値 (dB)	50 dB	下記の計算結果を記入
振動特定工場等の周辺の状況	周辺の状況について記入 なお、近隣50m以内に学校、保育所、病院、図書館、老人ホーム等がある場合は、その名称、住所、用途等を記入してください。	
(振動の計算)		
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">計算過程・結果を記入してください</div>		
※ 予測値が基準値を超えないよう防音対策をしてください。		

備考

- 1 その他の振動防止対策の欄には、吊基礎、直接支持基礎(板ばね、コイルばね等を使用するもの)、空気ばねの設置等の防止に関して講じようとする措置の概要を記入する

- こと。
- 2 振動特定工場等の立面図を添付すること。